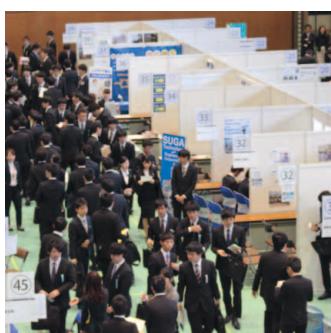




DAIDO CAMPUS

No.96 2019.04



写真提供:アルバム委員会

2019年度入学式を挙行しました

4月1日(月)、本学石井記念体育館で入学式を挙行しました。式では、神保睦子学長が、「大学生活は、高校生までの学生生活と社会に出るまでの間の、人生で最も貴重な時間であるといえるでしょう。高校生よりも自由があり、でも大人としての責任もあります。しかし、社会に出てからでは体験できない、時間や利益に縛られない、自分の考えで有意義な生活が送れます。大学生活で勉学やスポーツ、趣味などいろいろな努力をし、経験したことはみなさんの社会に出てからの財産です。大同大学は、そのような財産を築く皆さんのために、最大限の援助を行ないます。これから、さらなる情報社会の進展とともに、社会は大きな変革の時期に入ります。また、グローバル化はますます進むでしょう。そのような社会の変革に対応できるように、自分

自身を磨いて下さい。皆さんが大同大学で、貴重な実りある大学生活をおくることを心から願っています。」とエールを送りました。

また、新入生代表として、大橋侑奈さん(工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻)が挨拶し、「私たちはそれぞれの目標を抱き、期待に胸を膨らませ、大同大学に入学することが出来ました。「実学主義」という理念を胸に、努力を惜しまず勉学に励み、学生生活が有意義なものになるよう努力することを誓います。」と力強く宣誓しました。

式後は、「WELCOME TO D.U.」イベントを在学生たちが開き、クラブ紹介やミニゲーム、bingo大会などを行いました。また、保護者の方向けに新入生父母懇談会も実施しました。

写真提供:アルバム委員会



Welcome to





D.U.



ロボット研究部

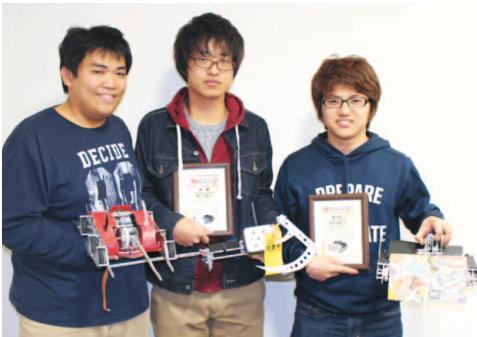
第25回小型ロボット競技会 “BRAVE”で1~3位を独占!

2018年9月23日(日)に開催された「第25回小型ロボット競技会“BRAVE」において、ロボット研究部の学生が1位から3位を独占し、大活躍しました。

小型ロボット競技会“BRAVE”は多用途化するロボットの進化を目的として、不整地・極地で活動可能な高性能ロボットを生み出す基礎を世界に築くべく、生まれたロボット競技大会です。

機体サイズがA4判内、使用可能モーターは小型ホビー向けのモーター(130サイズ・260サイズ)の無線ロボットによる競技で、最大4機によるバトルロイヤルと凹凸のあるフィールド上での対戦します。その対戦で2機が決勝リーグに勝ち上がり、勝者が決まります。

本競技会でロボット研究部1年 滝川晃生さんが優勝、2年 豊福拓哉さんが2位、2年 田村耕大さんは3位に輝きました! それぞれ入賞したコメントとして、滝沢さんは「今回は誰が勝ってもおかしくないバトルだったと思いますが、優勝できてうれしいです。」、豊福さんは「入賞出来てうれしいです。自分の機体で課題になっていた点も改善できることも、今までの努力が報われたようで良かったです。」、田村さんは「次回も入賞できるくらいに機体製作と、操縦を頑張ります。」と語っていました。



▲左から: 豊福さん、滝川さん、田村さん

男女ハンドボール部

第19回大同フェニックスカップで運営サポートをしました



▲フェニックスカップの様子

2月16日(土)、17日(日)、東海市体育館で第19回大同フェニックスカップが開催され、男女ハンドボール部の学生が運営のサポートをしました。

この大会は、全国から小学生ハンドボールチームが集まって行われる大会です。学生たちは、子供達のアップの手伝いや応援、荷物運びなどを行いました。学生は一日チーム帯同したこと、参加した小学生にこれからもハンドボールを続けてもらえるように、ハンドボールの楽しさを伝えていきたいと感じたようです。

吹奏楽団

第33回定期演奏会を開催ました



▲定期演奏会の様子

2月20日(水)に、名古屋市芸術創造センターで、吹奏楽団が「第33回定期演奏会」を開催しました。

迫力の演奏と、コミカルな演出で、終始楽しい演奏会を観客に披露しました。

中川真佑さん(フィギュアスケート同好会)

第48回中部学生氷上競技大会
ジュニア選手権クラスで3位!

2018年11月10日(土)、11日(日)に邦和スポーツランドにて行われた、第48回中部学生氷上競技大会にて、本学フィギュアスケート同好会3年 中川真佑さんが、ジュニア選手権クラスで3位に輝きました!

また、2018年11月16日(金)～18日(日)に開催された西日本インカレにも出場し、見事、全日本インカレの出場権を獲得しました。全日本インカレは1月4日(金)～7日(月)に栃木県立日光霧降アイスアリーナにて開催されました。中川さんは「今年からアイスダンスにも挑戦し始め、2種目の練習と授業との両立が大変ですが、自分にとって一番いい出来のものが披露できるように頑張ります。」とコメントしていました。



▲競技中の様子

澤佑亮さん、高柳祐希さん(機械システム工学科)

第9回自作スピーカーコンテストで「Stereo賞」を受賞しました!



▲受賞作品の前で喜びの表情の高柳さん(左)と澤さん(右)

2月23日(土)、東京神楽坂の音楽の友ホールで開催された、月刊Stereo誌主催『第9回自作スピーカーコンテスト』で、機械システム工学科 大嶋和彦研究室4年 澤佑亮さんと高柳祐希さんの合同作品が「Stereo賞」を受賞しました!

本コンテストはオーディオの甲子園とも呼ばれ、授賞した「Stereo賞」は主催雑誌の名称を与えていたりだけに、純粹に優れた音質の作品に与えられます。この成果は学会発表における優秀論文賞と比べても勝るとも劣りません。

今回は200を超える応募総数の中から、32作品が1次審査(書類選考)を、その中からさらに15作品が2次審査(試聴選考)を通過して、本戦を迎えました。このうち上位7作品に賞が与えられ、澤さん、高柳さんが見事「Stereo賞」を受賞しました。昨年の同コンテストでは大嶋教授が3位に入賞したものの、学生は2次審査で落選という結果でしたが、今年はリベンジを果たし、最終選考まで残っての受賞です。

また、本戦に残った15作品の応募者は百戦錬磨のベテランの方ばかりで、20代は澤さん、高柳さんのみ、最年少での受賞でした。

受賞作品は、音はもちろんのこと、将来性という意味でもたいへん好評でした。3月発売の月刊Stereo誌4月号に2人の写真とともに紹介されました。

また、今回の栄誉を称え、3月19日(火)に学長室にて奨励賞授与式が行われ、奨励賞を受賞しました。



▲指導教員の大嶋教授と共に

新海ひかりさん(建築学科 建築専攻)

『第13回公益社団法人
愛知建築士会 学生コンペ2018』で
佳作に選ばれました!

▲妹島氏と談笑する新海さん

「第13回(公社)愛知建築士会学生コンペ2018〈旅の建築〉」にて、建築専攻 舟橋仁奈研究室4年 新海ひかりさんが佳作に選出されました。

本コンペは今年で13回を迎え、「イメージを実現する喜び」や「形にする苦労を経験してもらいたい」という理念に基づき、最優秀賞に輝いた作品は原寸大モデルの制作権が与えられます。

2018年10月20日(土)に名古屋工業大学にて最終公開審査が行われ、1次審査を通過した6作品の最終プレゼンテーションが行われました。審査員長は建築界のノーベル賞と称されるプリツカー賞をはじめ国内外で数多くの賞を受賞されている妹島和世氏であり、公開審査当日は妹島氏の記念講演会も開催されました。妹島氏から心のこもったエールを頂き、新海さんは「妹島先生をはじめとする、素晴らしい先生方にご講評頂く機会を頂戴し、大変光栄に思います。」とコメントしました。講演会には、本学から多くの建築専攻・インテリアデザイン専攻の学生が参加し、非常に有意義な時間となりました。

**第13回(公社)愛知建築士会
学生コンペ2018のHP**



▲奨励賞授与式の様子

木下紗英さん(建築学科 インテリアデザイン専攻)

日本インテリアプランナー協会主催 「インテリアプランニングコンペ2018」で入選しました!



▲最終審査会場での写真(左:木下さん)

一般社団法人日本インテリアプランナー協会(JIPA)が主催する「インテリアプランニングコンペ2018」にて、インテリアデザイン専攻2年 木下紗英さんが入選しました!

本コンペは、インテリアプランナーを目指す若手の育成と活躍の場を創出するために創設され、毎年テーマにそったインテリアデザインを募集しています。2018年のテーマは「物語るインテリア」で、人々の記憶に働きかけ、毎日の生活をより豊かにする「物語り」の場としてのインテリア空間が求められました。

木下さんは、東明里さん(名古屋工業大学2年生)と山本梨乃さん(名城大学2年生)と共に、『青春～20歳になった私たちから～』というタイトルのインテリアデザイン提案を行い、見事入選を果たしました。木下さんは「他大学の友人と一緒にコンペに参加した事で、普段とは異なる視点を見出せたりと、大変良い刺激になりました。コンペ以降も何度もご飯会や講演会で会うほど仲良しです!」と、喜びのコメントを寄せしていました。

元英杰さん(建築学科 インテリアデザイン専攻)

Choose Art コンテストで デザインしたTシャツが 販売されています

Choose Art主催のコンテスト「クリスマスにぴったりなアートTシャツコレクション2018」で、インテリアデザイン専攻4年の元さんがデザインしたTシャツが一次審査を通過し、実際に販売されています。2018年12月1日(土)～25日(火)の間の売り上げによってグランプリが決まり、グランプリには賞金10万円が贈呈されました。

元さんは3種類デザインし、それぞれ「クリスマスカラーでシンプルにかっこよく、線を並べてデザインしたもの」「モダンでエレガントに、好きな色の白と黒でまとめたもの」「一般に想像するクリスマスとは違う日本の雰囲気を出したもの」を制作しました。元さんは「自分がデザインしたものがTシャツとして販売され、それを実際に着る人がいると思うとワクワクします。」とコメントしました。



実際の作品、購入は[こちら](#)

尾崎巧さん

(情報システム学科 コンピュータサイエンス専攻)

「かがやけ☆ あいちサスティナ研究所」 研究員として活動しました

コンピュータサイエンス専攻1年 尾崎巧さんが、2018年の6月～12月までの間、「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」研究員として活動しました。

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」とは、パートナー企業・団体の環境課題に対して学生がチームで解決策を提案する愛知県の事業です。

尾崎さんはトヨタ車体株式会社の研究課題に取り組み、2018年12月2日(日)には成果発表会が行われ、尾崎さんが所属するチームは、ふれ愛パークを拠点として生物多様性に関心のない人も気軽に参加できる環境イベントを検討しました。尾崎さんは「大変貴重な体験ができたと思います。これをきっかけにいろいろなことにチャレンジしていきたい」とコメントしました。

近藤早紀さん(大学院 修士課程)

第42回人間－生活環境系シンポジウム(大阪)で 大会発表賞(口頭部門)を受賞しました

2018年12月8日(土)、9日(日)に、大阪の摂南大学で開催された、人間－生活環境系学会が主催する「第42回人間－生活環境系シンポジウム(大阪)」にて、大学院 工学研究科 修士課程 光田恵研究室2年 近藤早紀さんが大会発表賞(口頭部門)を受賞しました。

近藤さんは、8日(土)に「置き型芳香剤のにおいの室内拡散挙動に関する研究－においの経時変化について－」と題して口頭発表を行いました。

▶指導教員の光田教授と



奥山智美さん(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

2/3(日)付中日新聞の

「キャンパスイチ推し」でマルチオーディオブースを紹介しました



▲2月3日(日)付 中日新聞

2月3日(日)付中日新聞の「キャンパスイチ推し」のコーナーで、メディアデザイン専攻3年 奥山智美さんが紹介するマルチオーディオ(MA)ブースが取り上げられました。

MAブースは本学の施設「ユメディオ」内にあり、ナレーションやセリフを録音する部屋と、声やBGMなどを加工・編集する部屋に分かれています。奥山さんは記事内で、ミュージックビデオやアニメの作品をチームで制作していること、曲や効果音などの音全般を自分が担当していることを紹介し、いつか自ら作曲したオリジナルの音楽をのせた映像作品を生み出し、YouTubeなどで発表したいと夢を語っていました。

大西凌平さん(情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)

地域の子どもたちに、 オリジナルデザインの チームウェアを作成しました!



▲大西さん(中央)とユニホームを着た大同キッズの皆さん

プロダクトデザイン専攻 横山研究室 4年 大西凌平さんが、卒業制作にて、小学生ハンドボールチーム「大同キッズ」のオリジナルチームウェアを作成しました。

大同キッズは、2018年に発足した小学生のハンドボールチームで、本学職員の八田忠監督が、横山研究室にユニフォームデザインを依頼したことから大西さんの卒業制作がスタートしました。

大西さんは、チームTシャツとユニフォームをデザイン。チームTシャツには、自身で作成したマスコットキャラクターを背中に大きくプリントしました。またユニフォームは、本学男子ハンドボール部のユニフォームをイメージしつつ、マスコットの羽をモチーフにしたマークを前面に大きく打ち出し、何度も立ち上がる強さを表現しています。

1月26日(土)の練習では大西さんも参加して、子どもたちにユニフォームをお披露目しました。ユニフォームを見た子どもたちからは「カッコいい」、「強そう」などの喜びの声が寄せられました。

佐々木佑太朗さん、山元和哉さん、

渡邊邦祐さん、磯部輝さん

(情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)

JIDA中部ブロックデザイン賞を受賞しました!

JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会)中部ブロック 次世代事業委員会が毎年行っている、各デザイン系大学の卒業制作訪問にて優秀な作品を選定し表彰する「2018年度卒展訪問JIDA中部ブロックデザイン賞」で、本学のプロダクトデザイン専攻からは最優秀賞に佐々木佑太朗さんの「陰影を楽しむ照明の提案」、優秀賞に山元和哉さんの「親子で分け合う座のかたち」、特別賞に渡邊邦祐さん・磯部輝さんの「EVバイクのプロダクトデザイン」がそれぞれ選ばれました。

本学では、2月21日(木)~24日(日)にナディアパークでプロダクトデザイン専攻の卒業制作展が行われ、JIDAの審査員は24日(日)に来場しました。

佐々木さんの「陰影を楽しむ照明の提案」は、凹凸形状が成形された強化和紙(ワーロン紙)をメイン素材にしたシンプルな照明。山元さんの「親子で分け合う座のかたち」は、曲げ合板を用いたシンプルな形状の家具。渡邊さん・磯部さんの「EVバイクのプロダクトデザイン」は、オートバイをEV化することで生まれる新しいかたちを模索した研究です。一年間の研究成果が花開きました。

2018年度【卒業制作展訪問】
JIDA中部ブロックデザイン賞のご紹介



▲最優秀賞: 佐々木さんの作品



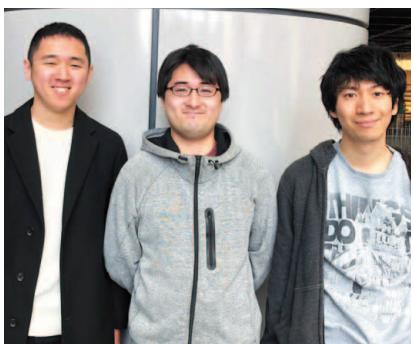
▲優秀賞: 山元さんの作品



▲特別賞: 渡邊さんと磯部さんの作品

安藤拓海さん、井上拓磨さん、安田直生さん(情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)

卒業研究作品が商品化されます!



▲左から:安藤さん、井上さん、安田さん

プロダクトデザイン
専攻 4年 安藤拓海さん、
井上拓磨さん、安田直生
さんの卒業研究成果が
商品化されます。

安藤さんら3名の卒業
研究は、産学連携という
形で株式会社近藤印刷
と本学との協同にて行わ
れました。株式会社近藤

印刷は、UVインクを用いた透明素材印刷などに強みを持ち、各種のノ
ベルティグッズを手掛けています。

研究テーマは「同人作家の作風、特徴を活かすノベルティグッズ
の提案」と称し、コミック作家が描くイラストに関するノベルティグッズ
の新商品のあり方を研究したものです。安藤さんら3名もイラストを趣味
としており、同人作家の視点から、この研究テーマに取り組みました。

最終作品は、イラストの制作過程ごとの状態をそれぞれ透明シート
にUVインクを用いた印刷を行い、これらの透明シートを重ねることで、
ラフ画イラストから、完成イラストまでの過程がわかるという、「メイキン
グ」という概念に注目したデザイン提案となっています。

提案作品は全部で4案ですが、このうち今回商品化が決定したのは、クリアプロマイドと名付けられたもので、はがきサイズの透明シート
印刷された4枚の制作過程ごとのイラストが、横一列に透明な袋に
納められるものです。従来はクリアシートに印刷された、はがきサイズ

の商品は存在はしていたものの、複数のものを透明ケースに入れて
折りたたんで重ねるという発想のものが無く、この点の斬新さが認め
られて商品化となりました。

安藤さんら3名は、自分たちの好きなイラスト制作で、「商品化につながる卒業研究制作をやり遂げたということに達成感を得ることができた」、「社会人となってからもこの経験を活かして行きたい」と想
と抱負を語っていました。

なお、本研究は現在特任教授となっている横井健二教授の下で
過去にも2回ほど同様商品化を目的とした研究が行われており、今回
も横井特任教授の支援も受け実施されました。

産学連携企業:

株式会社近藤印刷



▼▶ 製品化される卒業研究作品



情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻

上記のほか、卒業研究3作品が 製品化されました!

プロダクトデザイン専攻の卒業研究は企業や地域とコラボレー
ションすることが多いのが特徴です。今年の卒業研究は個人、チーム
も含めて21作品となりましたが、なんとその中で上記の作品のほか
3作品が製品化されました。デザインした作品が多くの方の目にとまつ
たり、実際に使ってもらったりすることは何よりも喜ばしいことです。



大西凌平さん

卒業研究タイトル:

小学生ハンドボールチーム「大同キッズ」のユニフォーム制作

協力:フットボールマックス株式会社／大同キッズ



合田彩乃さん

卒業研究タイトル:

**型を使わない立体加工を生かした
陶磁器の提案**

協力:丸新製陶有限会社



各務吉晃さん、三宅泰地さん

卒業研究タイトル:

3D技術を使用した有松絞りの技術開発

協力:有限会社 紋染色久野染工場

宮島千代美研究室 (情報システム学科 コンピュータサイエンス専攻) 第1回東海地区音声関連研究室 卒業論文中間発表会で 優秀発表賞を受賞しました



▲左から:相羽さん、鈴木さん

2018年12月15日(土)に中部大学にて開催された第1回東海地区音声関連研究室卒業論文中間発表会において、コンピュータサイエンス専攻 宮島研究室 4年 相羽伊織さんと鈴木隼人さんが「車載カメラ映像を用いた車種識別」の発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。

本発表会は、音声情報処理やその他関連研究を行っている東海地区の研究室が集って毎年開催している東海地区音声関連研究室修士論文中間発表会に倣って、学部生にも外部での研究発表や他大学の学生との交流の機会を与えるための試みとして、今年度初めて開催された発表会です。今年度は、東海地区の公立・私学6大学の情報系の4年生49名が卒業研究について概要講演とポスター発表を行いました。2019年度は名城大学、2020年度は本学にて開催される予定です。

高木基充研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻) 第2回UVインクジェットコンテスト 2018にて受賞しました

株式会社伊藤美術社製版所と株式会社アイビーネットが主催する『第2回UVインクジェットコンテスト2018』にて、メディアデザイン専攻 高木研究室 4年 園田綾乃さんが入選、松崎杏奈さんが審査員特別賞を受賞しました!

UVインクジェットコンテスト(INCO!)は、クリエイティブ分野を志す学生に今後のクリエイティブ活動や表現の幅を広げる機会を提供し、UVインクジェット印刷技術の理解を深めて作品制作から展示に至るまでを体験できるコンテストです。

今回は「時をデザインする」をテーマに、掛け時計の文字盤デザインが募集されました。UVインクジェットは一般的の印刷では難しい様々なことを表現することができ、樹脂、ガラスや金属など、非吸収性の多様な素材に印刷することができる技術です。受賞作品はいずれも独創性に溢れ、UVインクジェットの特性を最大限に活かした作品となりました。



▲園田さんの作品



▲松崎さんの作品

柴田慎一研究室(情報システム学科 情報ネットワーク専攻) (株)NTTデータ数理システムより 学生奨励賞を受賞しました

株式会社NTTデータ数理システム(NTTData)が主催している、2018年度 VMStudio & TMStudio 学生研究奨励賞で、情報システム学科 柴田研究室 4年 守田真矢さんが佳作に、木本大貴さんが敢闘賞に選ばれました。

守田さんは論文「価格モデルを考慮した牛乳の需要予測に関する研究」を、木本さんは論文「運動センサを用いた歩行分析における特徴量の可視化について」を発表し、受賞に至りました。守田さんは受賞コメントとして、「この度は学生研究奨励賞の佳作に選出していただき、誠にありがとうございます。VMStudioによってデータ分析をスムーズに進めることができ研究へ打ち込むことができました。このような機会をくださった株式会社NTTデータ数理システムの皆様と指導してくださった柴田先生に心より御礼申し上げます。」と述べていました。

2018年度 VMStudio & TMStudio 学生研究奨励賞の結果



高木基充研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻) 第9回ポスターグランプリにて 入賞・入選しました

中部地区印刷協議会を構成する愛知・岐阜・三重・石川・富山の5県印刷工業組合と愛知県印刷協同組合が主催する『第9回ポスターグランプリ』でメディアデザイン専攻 高木研究室 4年 伊藤大輝さんが株式会社光文堂賞を、内山瑞稀さんが株式会社メディアテクノロジージャパン賞を受賞したのをはじめ、松崎杏奈さんと山本麻央さんが入選しました!

今回は「知」という課題で、幅広いジャンル、豊かな発想と斬新な表現のポスター(ビジュアル・キャッチコピーを含む作品)を将来のグラフィックデザイン業界を担う学生・生徒および一般のデザイナーが自由な発想で作り上げました。

第9回ポスターグランプリ 入賞者・入選者の一覧はこちら



▲伊藤さんの作品



▲内山さんの作品

上岡和弘研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

区から要請されて「あいちオレンジタウン構想」に参加しました

名古屋市南区から要請されて、上岡研究室が「愛知県あいちオレンジタウン構想」に参加しました。

大学生にとって、高齢者は普段接点が少なく、接する機会が少ないと、いざという時どう接してよいか分からず、また「いざという時」であることさえ気づかない場合があります。

「あいちオレンジタウン構想」とは、認知症に理解の深いまちづくりの実現をめざしたもので、2017年、2018年の2回に渡り、上岡研究室の学生全員が認知症サポートキャラバン講習を受け、その証として、区の職員や社会福祉協議会の専門職の方々が身に付けているものと同じオレンジリングが与えられています。オレンジリングは認知症を支援する「目印」となります。

1月には、南区内の「認知症カフェ」に出向き、実際の認知症高齢者の方たちと触れ合い、講習で学んだことを体験しました。その時の様子は、2月27日(水)付中日新聞の企画「地域における認知症支援を考える」に掲載されました。

上岡研究室では「クリエイティブで地域の社会的課題に向き合う」をテーマに掲げており、これまでにも「南区MAP:探しに行こう南区いきいきMAP」や、「啓発動画:高齢者見守り実況中継編」など、様々な課題に挑戦しています。



▲2月27日(水)付 中日新聞



▲認知症カフェでの様子

情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻

有志学生が参加した NEW IDEAS展が リスボン大学で開催されました

2018年4月に本学展示室で開催された展覧会「NEW IDEAS」が、2018年11月29日(木)～12月28日(金)までポルトガルのリスボン大学で開催されました。

そのオープニングセレモニーに招待され、情報デザイン学科プロダクトデザイン専攻の横山弥生教授が参加しました。

この展覧会はアメリカ合衆国にあるフィラデルフィア芸術大学にメダル芸術を紹介する目的で1998年から始まり、2001年にリスボン大学がパートナーとなりました。以降毎年第三大学を招待して行われています。2016年に第三大学として本学が選ばれ、有志学生が作品を制作し参加しています。13世紀に建てられた建築の中の展示室はあるで美術館のようです。2016年5月の本学での展示、その後2016年6月～8月にかけて行われたニューヨークのMEDIALIA GALLERYでの展示に引き続き、このたびのリスボン大学での展覧会で一連のリレー展示が終了しました。



▲展示の様子

情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻

白川町産ヒノキ製品開発 プロジェクトの製品が ウッドデザイン賞2018を受賞しました



▲紹介パネル

プロダクトデザイン専攻の有志学生が2017年3月から取り組んでいた「白川町産ヒノキの製品開発プロジェクト」で手掛けた製品が、ウッドデザイン賞2018を受賞しました。ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度で、今年で4回目の開催となります。

プロジェクトではこれまで多くの製品のデザインを手がけてきましたが、この度その中の一つである「つみマスクみマス」が入賞しました。「つみマスクみマス」は白川町産の「東濃ひのき」の高い品質を活かし、伝統工芸「舟」をモチーフにした積み木です。複雑に組み重ねるバランス遊びも可能で、子どもから大人まで楽しめる製品です。

ウッドデザイン賞2018

受賞作品一覧(木製品分野)は[こちら](#)



関連記事:

[白川町の特産ヒノキ\(東濃ヒノキ\)を使った
製品発表会の様子が新聞に取り上げられました](#)



神保睦子学長

2/21(木)付読売新聞で本学を紹介しました

2月21日(木)付の読売新聞の連載記事「語る大学最前線」にて、神保学長が本学を紹介しました。

「語る大学最前線」は東海地方の各大学の学長自ら、大学の特徴や力を入れていること、今後の展望について紹介する連載記事です。

神保学長は記事内で、昨年10月に開設したモータ研究センターでの企業との新しいモーターの共同研究・開発をはじめ、学内で取り組む様々な産学連携研究を取り上げ、今後も各分野で産学連携を進め社会に貢献したいと語っています。また、ものづくりには協力が欠かせず、男女にかかわらず力を合わせて時代の要請に応える人材を育成するために、これからも授業、研究分野を工夫していきたいと抱負を語っています。



▲2月21日(木)付 読売新聞

井原禎貴准教授(機械システム工学科)

日本機械学会の講習会「究極熱効率を達成するための技術戦略」で講習会企画委員会幹事を勤めました

1月18日(金)、岐阜大学サテライトキャンパスで開催された、日本機械学会エンジンシステム部門が企画した講習会『究極熱効率を達成するための技術戦略』で井原准教授が講習会企画委員会幹事を勤めました。

舶用大型エンジンから軽自動車用ガソリンエンジンに至るまでの様々な用途のエンジンにおいて、さらなる熱効率向上が求められていますが、エンジンサイズおよび運用形態により、その戦略手法も多種多様です。SIP「革新的燃焼技術」プロジェクトでは、自動車用エンジンに対して具体的に50%の熱効率が目標として挙げられましたが、燃焼技術そのものから少し離れたアプローチも効果的であることが示唆されており、状況に応じた総合的な視点からの対策が重要となっています。

当日は、自動車・発電・船舶分野でエンジン開発に携わる5名の方々から、それぞれの分野での熱効率向上の取り組みをこれまでの経緯や最新の研究成果を交えて紹介がなされ、その後の質疑応答では活発な議論が行われました。

堀尾吉巳教授(電気電子工学科)

専門図書「最新 実用真空技術総覧」の一部を執筆しました

2月7日(木)に発刊された専門図書「最新 実用真空技術総覧」で、一部の執筆を堀尾教授が担当しました。

本書は、旧版より30年間の進展を凝縮し、基礎から応用・実用までを網羅した内容です。現場実務に役立つよう、応用技術事例を図表を多数使用して紹介してあるので、真空や分析に携わる研究者、技術者の座右の書として活用できます。

本書は、第1部 真空工学の基礎、第2部 真空応用システムから構成されており、堀尾教授は第2部第5編 表面分析の中の第5章 電子回折を担当しました。



▲最新 実用真空技術総覧

山田靖教授(電気電子工学科)

インターネットコンジャパンのセミナーで講師を務めました

1月16日(水)～18日(金)の計3日間、東京ビッグサイトで開催された第48回インターネットコンジャパンのセミナーで、山田教授が講師を担当しました。

このネップコンジャパンは、エレクトロニクス実装・生産技術の展示会で、同時開催のものを含め今回は2640社が出展し、来場者は11万人を超える大規模なものです。

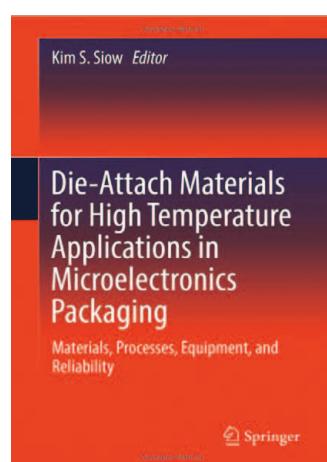
山田教授が担当したのは3日目、18日(金)午前の専門セッション「重要性が増すパワーエレクトロニクス」の中の「パワー半導体デバイスの高温動作に向けた接合技術」で、接合技術の動向、Cuナノ粒子接合の研究トピックス、および接合特性の評価法について解説しました。

山田靖教授(電気電子工学科)

専門図書「Die-Attach Materials for High Temperature Applications in Microelectronics Packaging」の一部を執筆しました

2月に発刊された専門図書「Die-Attach Materials for High Temperature Applications in Microelectronics Packaging」で、一部の執筆を山田教授が担当しました。

本書はSiCパワーデバイス等の高温動作化に向けた接合技術について、10章から構成された書籍で、さまざまな視点から記載されているため、半導体実装の研究者や技術者に活用されます。山田教授は、8章の「Sintered Copper (Cu) : Chemistry, Process, and Reliability」を担当しました。



嶋田喜昭教授、樋口恵一講師(建築学科 土木・環境専攻)

シェアリング Meetup Tokyo 2018に出展・参加しました

2018年11月20日(火)～22日(木)に東京ビッグサイト東ホールで開催された、シェアリング Meetup Tokyo 2018に、嶋田教授と樋口講師が出展・参加しました。

シェアリング Meetup Tokyoとは、「シェアリングビジネス」に関するあらゆる事業者と利用者が集うマッチングイベントです。

折り畳みが可能な高齢者・交通弱者向けパーソナルモビリティ「SCOO」をシェアし、高齢者等の移動支援サービス手段としての展開の可能性を提案した嶋田教授および樋口講師のほか、「SCOO」を共同開発した、香川大学創造工学部の井藤隆志教授(元本学教授)と、株式会社キュリオ(旧 高橋製瓦株式会社)の方がイベントに参加しました。

関連記事:

[井藤研究室が企業と共に電動車いすを開発](#)



新刊紹介

「室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説(A0003-2019)」

光田恵教授、棚村壽三准教授、岩橋尊嗣特任教員(建築学科 かおりデザイン専攻)

かおりデザイン専攻の光田教授、棚村准教授、岩橋特任教員ほか4名が執筆した書籍「室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説(A0003-2019)」が2月25日(月)に日本建築学会から出版されました。

近年、悪臭防止法の対象ではない室内においても人々の関心が高まっており、日本建築学会では、2005年に室内の臭気に関して、良質な環境を保持することを目指して、「室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説(AIJES-A003-2005)」を制定しました。今回はその改定版として、運用基準について各室内空間の特性を考慮して基準値が設定できるようにグレードを設け、臭気発生量の求め方と代表的な臭気の発生量も記載しました。また、人々のにおに対する関心の高まりもあり、空気清浄器、消臭剤、脱臭剤、芳香剤、防臭剤など種々の商品が販売されていることから、これらの分類と特徴を最新の情報に基づいて整理しました。

本書の内容は、光田教授が臭気に関する学会環境基準検討小委員会の主査を務め、棚村准教授、岩橋特任教員が委員として、検討を進めてきたものであり、室内の臭気対策、およびにおい環境の管理の指針となるものです。

光田恵教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

2018年度東海支部研究集会 シンポジウムにて講演しました

2月18日(月)に、大同大学で開催された、東海支部歴史意匠委員会が主催する『2018年度東海支部研究集会シンポジウム「建築と学際研究』にて光田教授が講演を行いました。

このシンポジウムは異分野との融合や学際領域での研究が盛んにおこなわれている現状を踏まえて、建築の諸分野で取り組んできた学際研究の実績を紹介し、学際研究の展望について議論することを趣旨として行われています。光田教授は、「建築とかおりのデザイン」と題して講演しました。

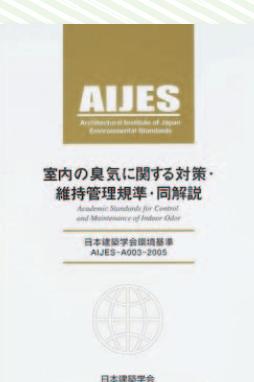
光田恵教授、棚村壽三准教授、岩橋尊嗣特任教員(建築学科 かおりデザイン専攻)

室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説(改定版)講習会で解説しました

2月25日(月)に、建築会館大ホールにて開催された、日本建築学会 環境工学委員会が主催する、「日本建築学会環境基準 室内の臭気に関する対策・維持管理規準(AIJES-A003-2005)」改定講習会で光田教授が解説しました。

「室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説」は、室内の臭気に関して、良質な環境を保持することを目指して、2005年に制定(AIJES-A003-2005)され以来、室内の臭気の基準値設定の考え方、臭気の基準値、臭気の測定・評価方法など、室内の臭気対策やおい環境の管理に幅広く活用されてきました。

今回、大幅な改定が行われたことから、講習会では、多くの方に新しい規準を理解し、積極的に活用されることを期待して、新しい臭気規準の内容やその制定経緯を、光田教授、棚村准教授、岩橋特任教員がわかりやすく解説しました。



編著・発行:日本建築学会
執筆者:光田恵(主査)、棚村壽三、岩橋尊嗣ほか4名
発行日:2019年2月25日 第2版・A4・68ページ
ISBN:978-4-8189-3634-8 定価:1,944円(税込)

関連記事:

[室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説\(改定版\)](#)
[講習会で解説しました/光田恵教授](#)



山口一教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

2018年度室内環境学会大阪講演会で、企画・運営し、趣旨説明、基調講演を行いました

2月22日(金)に、フーハ大阪にて行われた2018年度室内環境学会大阪講演会で、山口教授は、室内環境学会事業委員長として、本講演会を企画運営し、趣旨説明、「環境微生物の分析・評価法の過去、現在、未来」と題した基調講演、最後の総括を行いました。

講演会は「環境微生物の分析・評価方法の最新情報 一リアルタイム測定からDNA解析までー」というテーマで開催されました。

最近、生命体にレーザー光線の照射時に発する蛍光などを検知することで、空気中に浮遊する微生物(細菌・真菌)を瞬時に連続的に検出する「リアルタイム測定法」や遺伝子技術を応用した先進の微生物の分析・評価方法が話題となっています。本技術により、医薬品など

の製造現場、品質保証部門、研究部門における検査時間の大幅短縮や精度向上が期待され、



▲講演会の様子

環境分野ではマイクロバイオームなどの技術へ発展しています。講演会では、本技術に関連した分析・評価法の概要、実施例および今後の課題などを各分野の専門家が解説しました。

参加は20名以上と会場が満席となる盛況な会となり、大学・研究機関の他、住宅・電機メーカー、医薬品・食品・化学メーカー、建設関連企業及び環境測定機器関連企業と、様々な分野の方々が参集されました。

齊藤慎太郎教授(総合情報学科 スポーツ情報コース)

NHK教育テレビ

「第70回日本ハンドボール選手権 女子・決勝」で解説を担当しました

2018年12月23日(日) 14:00～、NHK教育テレビで放送の「第70回日本ハンドボール選手権 女子・決勝」で、本学女子ハンドボール部監督を務める齊藤教授が解説を担当しました。

番組では大阪市で12月19日(水)から開催された、「第70回日本ハンドボール選手権」の女子決勝戦を生中継。日本一のタイトルをかけ、日本リーグ、学生、各ブロック予選を突破した女子20チームから勝ち上がった2チームの熱い戦いを齊藤教授が解説しました。

大東憲二教授(総合情報学科 経営情報コース)

「NPO法人地中熱&地下水

資源活用NET」主催の

トークセッションで講演しました

2月2日(土)に、「NPO法人地中熱&地下水資源活用NET」主催の第7回トークセッションが岐阜大学サテライトキャンパスで開催され、大東教授が話題提供者の一人として講演しました。講演タイトルは「広域地盤沈下対策としての地下水管理とUNESCOの地盤沈下問題への取り組み」です。引き続き行われたトークセッションでは、水ジャーナリストの橋本淳司氏と共に、



NPO法人地中熱&地下水資源活用NETの会員の方々や会場の方々と地中熱や地下水の活用についてディスカッションしました。

▲講演する大東教授

大東憲二教授(総合情報学科 経営情報コース)

愛知県知事から感謝状を授与されました



1月25日(金)、大東教授が愛知県の環境審議会、環境影響評価審査会、廃棄物処理施設審査会議等の委員を長く務めたことに対する感謝状を授与されました。

大東教授は、今後も愛知県の環境保全行政の推進に寄与する活動を行っていきます。

澤岡昭名誉学長

名古屋工業大学主催の講演会

「宇宙飛行士から学ぶ危機管理」でモダレーターを担当しました

2018年12月12日(水)に名古屋工業大学にて開催された講演会「宇宙飛行士から学ぶ危機管理」で澤岡名誉学長がモダレーターを担当しました。

本講演会は、JAXA宇宙飛行士 大西卓也氏の「国際宇宙ステーションの長期滞在ミッション」の講演に続き、「宇宙飛行士から学ぶ危機管理」をテーマに大西氏を交え、名古屋工業大学副学長 江龍修氏をはじめ同大学関係者5名のパネルディスカッションが行われました。

パネリストからの「危機管理」に関する実情・課題提起を受け、会場から「宇宙飛行士の訓練内容と心構え」、「アメリカとロシアの危機管理に対する考え方の違い」、「人工知能開発での事故想定」、「リーダーの役割」など核心に迫った質問が多く寄せられました。

澤岡名誉学長自身も膨大な「スペースシャトル・コロンビア号」の爆発事故報告書から「危機管理」の重要性に言及していました。



▲左から4番目:澤岡名誉学長

卒業生が著書を図書館に寄贈しました



▲卒業生の橋本さん

本学(当時:大同工業大学)の卒業生である橋本典雄さんがペーパークラフト制作本「海上自衛隊オリジナル・ペーパークラフト・ブック」を出版したのを記念し、本学図書館に著書を寄贈しました。

橋本さんは1991年に当時の電気工学科を卒業し、現在は海上自衛隊の2等海佐として活躍しています。

小学生の頃からペーパークラフトを組み立てるのが好きで、海上自衛官になってからも趣味で図面を作り続けていたところ、多方面から人気に火が付き、今回の出版に至りました。海上自衛官ならではの視点で制作されたペーパークラフトは精緻でアリティーがあり、これまでに60種類以上も制作しています。橋本さんは、今後も図面の制作を続け多くの人に楽しんでもらいたいと話していました。

建築学科 土木・環境専攻

白水キャンパスで作品展示を行いました

1月28日(月)～2月4日(月)、白水キャンパスの4号館4102教室にて、土木・環境専攻の1～3年生が後期の授業で制作した作品を展示しました。

展示されていたのは、1年次『ランドスケープ設計』、2年次『CAD演習2』、3年次『都市開発プラン実習』の授業で制作された作品です。1年次から3年次までの学びの課程を垣間見ることができます。他学科・専攻の学生にとっても興味深いものとなりました。



▲展示会の様子

大同キッズ

学生がデザインしたユニフォームを着て大会に参加しました

2月2日(土)、名古屋市体育館で開催された、第45回愛知県小学生ハンドボール大会に大同キッズが出場しました。

大同キッズは2018年4月から活動を開始し、大会への出場を目標に掲げて本学男女ハンドボール部の協力のもと活動してきました。男子Aチームの部に参加した大同キッズにとって、この大会が初めての公式戦となりました。

子どもたちはプロダクトデザイン専攻 横山研究室の大西凌平さんが卒業研究でデザインしたユニフォームを着て、コートで元気一杯にプレーしました。



▲大会初出場の記念撮影



ハンドボールスクール
「大同キッズ」が
始動しました!
/男女ハンドボール部

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻

X4デザイン専攻リレー展示を開催しました

「X4デザイン専攻リレー展示」とは、大同大学の建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻、情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻の4つの専攻からなるリレー展示です。卒業制作作品から選抜された学生作品や、リレー展示のために学生たちが4年間の集大成として取り組んだ作品が各所で発表されました。

写真提供:アルバム委員会



名古屋市南区と連携と協力に関する 包括協定を締結しました

本学と名古屋市南区は、3月6日(水)に連携と協力に関する包括協定を締結しました。

本協定は、積極的な連携協力のもと、相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用を図り、地域社会の発展と学生の育成に寄与することを目的としたものです。

3月6日(水)に、南区役所で行われた締結式では、南区役所の河野和彦区長と本学の神保睦子学長が協定書に調印しました。これまでも各部署及び各教員が個別に連携・協力を実施してきましたが、今後は双方で窓口を一元化し、これまで以上に活発な連携が図られる予定です。



▲締結にて

学生ホールがリニューアルオープン!

B棟1階丸善前学生ホール 空間デザイン(内装設計)提案コンペを開催しました!

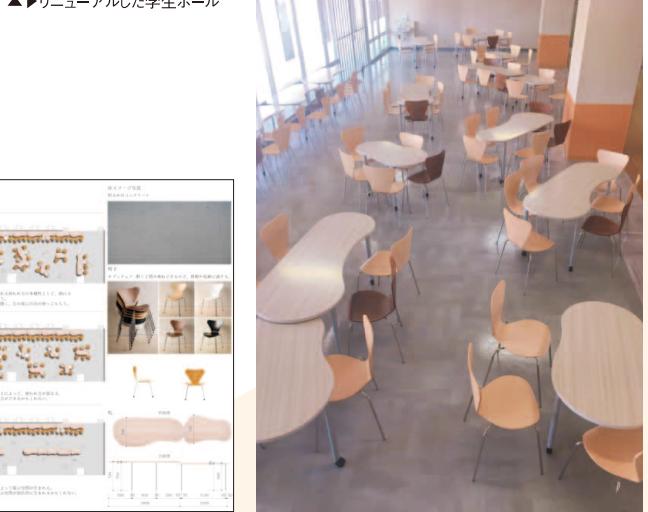
後援会の援助を受けてB棟1階丸善前学生ホールの改裝をするにあたり、2018年4月に学生室が空間デザイン提案の募集を開始してからコンペ、改裝工事を経て、ついに3月15日(金)にリニューアルオープンしました。

デザインはインテリアデザイン専攻2年 松原成佳さんによるもので、11月に行われた応募者5名による6提案によるコンペの審査の結果採用されたものです。松原さんは、コンペの後、後援会役員会でのプレゼンテーションや、改裝工事を行う業者との打ち合わせにも参加し、自身のデザインした空間を実現させました。

完成した当日から、多くの学生がリラックスした様子で学生ホールを利用する姿が見られました。



▲リニューアルした学生ホール



▼採用された松原さんの案



新任教員紹介



萩野 将広 講師

工学部 機械工学科

この度、大同大学工学部機械工学科の講師として着任した萩野将広です。専門分野は生産加工学で主に切削加工に関する研究を行なってきました。大同大学のOBとして母校の教壇に立てるこことを大変嬉しく思います。



君山 博之 教授

情報学部 情報システム学科

情報システム学科に着任した君山です。並列分散処理とその応用に関する研究を行なっています。メディアシステム、セキュリティ、機械学習分野への応用を中心に、学生の皆さんとともに社会に役に立つ技術の創出を目指していきたいと考えています。



萩野 正雄 准教授

情報学部 情報システム学科

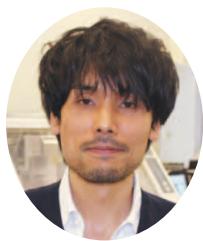
情報システム学科に着任しました萩野（おぎの）です。専門は計算工学と高性能計算で、コンピュータでモノづくりや防災・減災を支える研究を行っています。新たな学びの場に来ることができ、夢と希望に溢れています。



佐々木 勝史 教授

情報学部 情報デザイン学科

情報デザイン学科に着任した佐々木です。以前は自動車メーカーでカーデザイナーをやっていました。自動車1台には生地や樹脂、金属など様々な素材を使っており、また人間工学やインターフェイス、AIによる自動運転なども含め最新技術の宝庫です。これまでの経験を活かし今度は皆さんと共に共有して、共に学んでいきたいと思っています。宜しくお願ひします。



舟橋 慶祐 准教授

情報学部 情報デザイン学科

情報デザイン学科に着任しました舟橋慶祐です。フリーのプロダクトデザイナーとして様々な領域の工業製品を手がけてきました。専門は三次元CADやデジタルファブリケーションを活用したデザインの研究です。本学で10年ほど非常勤講師を務めてきましたが、新たな気持ちで臨む所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。



桐山 岳寛 講師

情報学部 情報デザイン学科

情報デザイン学科に着任しました桐山です。専門は「インフォメーション・デザイン」。ものごとを分かりやすく伝えるためのデザイン手法の研究をしています。

皆さんと共に成長していきたいと思います。よろしくお願ひします。



岡 康之 准教授

教養部 数学教室

2019年4月に教養部数学教室に着任いたしました岡です。専門は、偏微分方程式で、主に非線形熱伝導方程式や流体力学で用いられるNavier-Stokes方程式の初期値問題の可解性について層状群の視点から研究しております。実際に数学を用いて理論を構築してきた経験や学んできた知識などを教育に生かしていきたいと思っております。

大脇崇浩経理室長(剣道部顧問)

剣道7段審査会で合格しました!

剣道部顧問の大脇経理室長が2018年11月28日(水)に開催された全日本剣道連盟主催 剣道7段審査会で合格しました! 合格率は23.8%で、7段合格は狭き門として知られており、再審査をする方もたくさんいる中、見事1発で合格しました。おめでとうございます。



▲大脇経理室長

平山典子入試・広報室員(4/1よりキャリア支援室へ異動)

理事長賞を受賞しました!

入試・広報室の平山典子さんが「わたしの提案」において、理事長賞を受賞しました。「わたしの提案」は事務職員が日常業務のなかで発明考案・業務改善をすすめ、その業績が顕著であると認められた提案が表彰されるものです。平山さんは入職から4年間、入試・広報室において女子学生の募集に関する様々な施策を立案・実施してきました。その結果、これまで10%に満たなかった女子の新入生が年々増加し、今年度は14%を超えるまでになったことが評価されました(131人)。「この経験を活かし、新しい部署でも前向きに業務改善に努めたい」と今後の抱負を話してくれました。おめでとうございます。



平成30年度 学位記授与式を挙行しました

3月22日(金)、本学石井記念体育館で学位記授与式を挙行しました。神保睦子学長は、「卒業は新たな門出です。近年、地球温暖化、東アジアの緊張など地球規模の課題がいくつも顕在化し、日本にも影響を与えています。これからは日本だけでなく、世界に目を向けて広い社会に飛び出し、自分自身を成長させて下さい。みなさんの人生はこれからです。自分の満足できる人生を送って下さい。そして、ふと立ち止まり迷うとき、大同大学を思い出し、相談に来て下さい。大同大学は、いつまでも皆さんとともにあります。健康に気をつけ、家族や友達を大切にし、これから的人生を送られることを、心から願っています。」と告辞を述べました。

卒業生総代の合田彩乃さん(情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)は「四年間の大学生活は人生の中で考えると短い時間かもしれません、自分自身を大きく成長させたかけがえのない時間になりました。これから先、今まで以上に困難が待ち受けていると思います。しかし、どんな時も諦めず、最後まで粘り強くチャレンジしていきたいと思います。」と答辞を述べました。

学位記授与式終了後には名古屋観光ホテルで卒業パーティーを行いました。



写真提供:アルバム委員会

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	渡邊 智彦	高田 健
機械工学科	熊谷 嘉記	町屋 修太郎
総合機械工学科	東方 香奈	吉田 昌史
総合機械工学科	遠藤 淳平	坂倉 守昭
電気電子工学科	高橋 史也	山田 靖
電気電子工学科	濱本 侃汰	大澤 文明
建築専攻	齋藤 孝輔	宇野 享
土木・環境専攻	出口 智也	嶋田 喜昭
コンピュータサイエンス専攻	田中 義弘	宮島 千代美
情報ネットワーク専攻	守田 真矢	柴田 慎一
メディアデザイン専攻	田中 友莉奈	原田 昌明
プロダクトデザイン専攻	合田 彩乃	岡田 心
かおりデザイン専攻	小崎 有紗	光田 恵

学長賞(その他の顕著な功績)

学科・専攻	氏名	指導教員
コンピュータサイエンス専攻	櫻井 香清	芋野 美紗子

学長賞(課外活動)

所属	氏名	顧問
バレーボール部	小林 雅也	山田 雄太
女子ハンドボール部	熊谷 美希	齊藤 慎太郎
男子ハンドボール部	三重 樹弥	佐藤 壮一郎
女子ハンドボール部	山口 遥	齊藤 慎太郎

学長賞(研究活動)

学科・専攻	氏名	指導教員
建築専攻	新海 ひかり	船橋 仁奈

学長賞(大学院)

専攻	氏名	指導教員
機械工学専攻	名倉 誠倫	徳納 一成
機械工学専攻	石黒 棄人	大嶋 和彦
電気・電子工学専攻	長谷川 和基	山田 靖
都市環境デザイン専攻	近藤 早紀	光田 恵
都市環境デザイン専攻	古川 俊	鷺見 哲也
情報学専攻	池谷 友希	朝倉 宏一
情報学専攻	水谷 竜斗	横山 弥生

学会賞(学部)

学会・賞名	学科・専攻	氏名	指導教員
日本機械学会 畠山賞	機械工学科	廣島 秀則	高田 健
日本機械学会 畠山賞	機械工学科	古川 咲輝	高田 健
日本設計工学会 武藤賞	機械工学科	福岡 稔馬	徳納 一成
日本鋳造工学会 勇奨賞	機械工学科	近藤 巧真	前田 安郭
日本機械学会 畠山賞	総合機械工学科 機械システム専攻	熊屋 拓海	小里 泰章
日本機械学会 畠山賞	総合機械工学科 ロボティクス専攻	梯原 大智	篠原 主勲

学会賞(大学院)

学会・賞名	専攻	氏名	指導教員
日本機械学会 三浦賞	機械工学専攻	田中 隆太郎	宮本 濃示
日本機械学会 三浦賞	機械工学専攻	川口 直紀	坂倉 守昭
日本設計工学会 武藤賞	機械工学専攻	杉田 大樹	西脇 武志
日本自動車技術協会 大学院研究奨励賞	機械工学専攻	高木 雄生	坪井 凉

人 事

人事

●退任(2019.3.31)

都築 孝宜(大同大学大同高等学校 教頭)

●退職

【大学】

〈教育職員〉(2019.3.31)

池田 洋一(工学部 機械工学科 教授)

大石 弥幸(情報学部 情報システム学科 教授)

本田 隆司(情報学部 情報システム学科 教授)

上田 英靖(教養部 教授)

武田 秀雄(工学部 電気電子工学科 特任教員)

佐藤 達生(工学部 建築学科 特任教員)

水澤 富作(工学部 建築学科 特任教員)

岩橋 尊嗣(情報学部 総合情報学科 特任教員)

【高校】

〈教諭〉(2019.3.31)

都築 孝宜(工業)

大隅 健治(工業)

山口 初一(工業)

山元 章人(工業)

●採用

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(2019.4.1)

萩野 将広 工学部 機械工学科 講師

君山 博之 情報学部 情報システム学科 教授

荻野 正雄 情報学部 情報システム学科 准教授

佐々木 勝史 情報学部 情報デザイン学科 教授

舟橋 慶祐 情報学部 情報デザイン学科 准教授
桐山 岳寛 情報学部 情報デザイン学科 講師
岡 康之 教養部 准教授
池田 洋一 工学部 機械工学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
井上 孝司 工学部 機械工学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
森脇 克巳 工学部 機械工学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
大石 弥幸 情報学部 情報システム学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
佐藤 秀樹 情報学部 情報システム学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
本田 隆司 情報学部 情報システム学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
横井 健二 情報学部 情報デザイン学科 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
上田 英靖 教養部 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
酒井 陽一 教養部 特任教員
(任期:2019.4.1 ~ 2020.3.31)
○事務職員)(2019.4.1)
西村 勇樹 総務部 管財室
加藤 駿 企画調整部 経理室
高松 桜羅 企画調整部 入試・広報室
●昇任
【大学】
〈教育職員〉(2019.4.1)
川福 基裕 工学部 電気電子工学科 教授

鷺見 哲也 工学部 建築学科 教授

柘植 覚 情報学部 情報システム学科 教授

斎田 浩見 教養部 教授

山田 雄太 教養部 教授

高橋 之 工学部 建築学科 准教授

●異動

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(2019.4.1)

宮島 千代美 情報学部 総合情報学科 准教授

併任 情報学部 情報システム学科 准教授

松木 孝文 教養部 准教授

伊藤 倭 教養部 准教授

併任 情報学部 総合情報学科 准教授

〈事務職員〉(2019.4.1)

野島 大策 大学事務部 教務室 主任部員

八田 忠 企画調整部 入試・広報室

山本 歩美 大学事務部 研究・産学連携支援室

平山 典子 大学事務部 キャリア支援室

●称号授与

【大学】

〈名誉教授〉(2019.4.1)

池田 洋一(元工学部 機械工学科 教授)

神保 睦子(元工学部 電気電子工学科 教授)

大石 弥幸(元情報学部 情報システム学科 教授)

本田 隆司(元情報学部 情報システム学科 教授)

上田 英靖(元教養部 教授)